

基本計画（案）

—基本計画の項目説明—

政策番号 政策名



施策番号

施策名

めざすべき姿

施策における加西市の将来像

課 題

施策における現状と将来に向けての課題

（市民ワークショップ、グループインタビュー、市役所内ワーキンググループからのヒアリング結果、その他市役所各部署からの意見抽出）

行政の取り組み

行政の取り組みの方向性や事業

住民の取り組み

目標の実現のために、市民や企業が取り組むこと

住民からの提案

総合計画市民参画ワークショップ会議による提案

「市民参画ワークショップ提案書」（各委員に配布済）の提案番号と提案名を入れています。

関連する個別計画

施策に関連する市の計画等

目 標 指 標

目標が実現しているかどうかを計る主な指標

※各事業毎の目標指標は「実施計画」で定めます。



めざすべき姿

住民だれもが参加しやすい学習機会の提供と、学びによる生きがいつくりや学習成果を、地域社会の課題解決に生かすことができるまちをめざします。

課 題

住民の関心度が高く、新しいニーズに合った講座の開催、多様な学習機会の提供
住民ニーズに基づいた資料や情報の収集と **レファレンス機能**の強化
市民活動リーダーの掘り起こしと養成
公民館での **人材コーディネート**活動
公民館施設の **バリアフリー**化
芸術文化や音楽にふれる機会の提供
歴史文化遺産の有効活用
多様な人権課題についての理解の促進

行政の取り組み

公民館を中心に加西市全域をキャンパスとする市民大学を創設し、住民の多様な学習機会を提供します。
図書館と交流センターの機能統合を進め、課題解決型の情報発信施設とします。
文化団体と多様な地域活動団体との連携を促進し、活動拡大と新たな担い手を育成します。
高齢者や障がい者の利用に配慮した公民館の **バリアフリー**を進めます。
歴史文化遺産の活用計画を策定します。
その他あらゆる人権啓発活動を推進します。

住民の取り組み

公民館活動で学び、新しい仲間づくりに努めます。
学習によって得た知識を地域に広げる活動を行います。
市内の文化財や伝統文化に触れる機会を増やし、歴史的な遺産を後世に受け継いでいきます。

関連する個別計画

加西市教育行政方針
新加西市立図書館 図書館サービス・整備・運営計画
加西市こどもの読書推進計画
加西市玉丘古墳等整備基本計画

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
図書館利用者登録率	61.9%	65%	68%
文化財サポーター 登録者数			
公民館自主事業の参加者数			
市民文化祭に出演出展した人数			



めざすべき姿

若い力を正しく伸ばすため、青少年の健全かつ自主的な活動を推進し、そのための指導者養成と推進環境が整っているまちをめざします。

課 題

青少年センター活動の周知と情報発信

野外活動やエコ啓発活動を契機とした青少年活動

子どもの自然体験、生活体験等の充実

青少年健全育成に携わる関係団体の連携強化

子どもたちが自主的に活動できる青少年センターづくり

青少年リーダーの掘り起こしと養成

行政の取り組み

子どもたちの多様な体験を通して、仲間づくりや豊かな心を育むとともに、青少年リーダーの育成と支援を行います。

多様な市民活動団体との連携を強化し、組織の活動を広めます。

総合教育センターを整備し、ボランティアグループの育成、若者のスポーツ活動、文化活動、それらの発表など、青少年の居場所づくり、活動の場づくりを推進します。

住民の取り組み

地域における青少年の役割を考え積極的に活動機会の場をつくります。

青少年活動体験活動への理解と協力を努めます。

地域における健全育成活動へ参加します。

地域のイベントや行事で青少年が活躍できる場を提供します。

住民からの提案

- 11 青少年のこころ豊かなふるさとづくり

関連する個別計画

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5年後（H27）	10年後（H32）
青少年が講師を務める講座数			
青少年団体イベントの参加者数			



地域で楽しめる体力づくり

めざすべき姿

健康づくりや体力づくりなどの住民交流の場において、誰もがいつでもどこでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しむまちをめざします。

課 題

市民の健康志向に対するスポーツ・レクリエーションの普及
高齢者や障がい者などのスポーツ活動への参加の拡大
スポーツクラブ 21 など、地域スポーツ活動の活性化
技能技術を向上させる指導者の育成

行政の取り組み

既存施設を有効活用し、市民が身近な場所でスポーツに親しめる機会を拡充します。
高齢者を含めた体力づくりや健康づくりを目的としたスポーツ・レクリエーション活動を推進します。
地域に密着して活動しているグループのリーダーや指導者を支援します。
三世代で参加できる地域の里山ハイクなどのイベントを開催します。

住民の取り組み

みんなで誘いあって体力づくりやスポーツ活動に取り組みます。
スポーツ活動を通じて積極的に地域交流を図ります。

住民からの提案

30 地域の里山愛好会を結成

関連する個別計画

加西市教育振興基本計画（ねひめ教育プラン）
加西市教育行政方針

目 標 指 標

指標名	現 状（H21）	5 年後	10 年後
スポーツクラブ 21 登録会員数			
市が所管するスポーツ施設の利用者数			



出会いを求める若者の応援

めざすべき姿

出会いを求める人たちが「自分に合う」婚活方法で幸福をつかむことができるまちをめざします。

課 題

若者が信頼のおける知人や友人を介して参加登録できる婚活のサポート事業
同世代の若者の交流機会の創出
男女の出会いの選択肢の増加

行政の取り組み

若者が加西で気軽に出会えるイベントを推進して男女の交流機会の創出を支援します。
当事者の企画運営によるイベントを支援します。
職域相互の若者交流を支援します。
婚活サポーター事業を創設します。

住民の取り組み

友人知人の紹介によって男女のふれあいの機会を増やします。
若者自身が積極的にイベントに参加します。
婚活サポーターへの協力、情報提供を行います。

関連する個別計画

次世代育成支援対策行動計画

目 標 指 標

指標名	現状（H22）	5年後（H27）	10年後（H32）
婚活サポーター数			



めざすべき姿

次世代を担う児童生徒が生涯にわたって学び続け、自らの夢や志を実現する人材育成ができる学校をめざします。

課 題

隣接型小中一貫教育校の導入

加西市独自の特色ある質の高い教育の提供

小学校時の英語教育、I T（情報技術）教育の提供

一人ひとりの教育ニーズを把握した特別支援教育

子どもたちの豊かな学びと育ちの継続的な推進

行政の取り組み

義務教育9年間を通して、継続的に子どもたちの豊かな学びと育ちを実現するため、隣接型小中一貫教育を推進します。

小中教員の連携、英語指導助手の配置により、小中学校の英語活動の充実を図ります。

小中学校にスクールアシスタントを配置し、学びのサポーターや言語聴覚士とともに特別支援教育の充実を図ります。

パソコン教室に新システムを導入し、児童生徒の情報活用力と情報モラルの育成に努めます。

教職員の資質や技能を向上させるための研修を充実します。

住民の取り組み

家庭での自習や規則正しい生活習慣の実践、社会生活に適応できる能力を身につけさせます。

学校との信頼関係構築や情報共有に努めます。

関連する個別計画

加西市教育振興基本計画

加西市教育行政方針

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
隣接型小中一貫学校			

政策2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり



施策06

安全で快適な学校づくり

めざすべき姿

小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる教育環境と、中学校給食の全校実施をめざします。

課 題

教育施設の耐震化

小中学校の再編

給食センターの整備による4中学校への給食導入

学校施設の整備と充実

行政の取り組み

鉄筋コンクリート・鉄骨造校舎で耐震性の低い施設より耐震補強工事を行い、改修工事も同時施します。

木造校舎の耐震診断と補強計画を実施し、早期に耐震補強工事を行います。

学校再編計画に応じた給食調理場を整備します。

小中一貫教育と個々に応じたきめ細かな指導のために資料・備品・教育機器・講師などの拡充を図ります。

住民の取り組み

年間を通じて学校行事に積極的に参加します。

関連する個別計画

加西市教育振興基本計画

加西市教育行政方針

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5年後	10年後
学校耐震化率（鉄筋・鉄骨）	46.8%	98%	100%
学校耐新化率（木造）	0%	100%	100%
学校給食センター設立			



めざすべき姿

学校が家庭や地域との連携を強化して児童生徒の活動や体験の場を確保し、地域の一員として信頼される学校をめざします。

課 題

学校教育活動、教育委員会活動に関する情報提供
家庭の教育力、地域の子育て力の向上
地域の魅力を学校や地域の人から学ぶ機会の創出
地域ボランティアの育成
高齢者の学校・園行事への積極的参加

行政の取り組み

学校や教育委員会の活動について、積極的に保護者や地域に情報提供し、アンケートや意見を反映した学校運営に努めます。

地域の自然環境や伝統、文化を学ぶ機会の充実を図ります。

ゲストティーチャーなどの活用により地域全体で学校教育を支援する体制を整備します。

学校運営協議会の運営や学校公開などを通して地域に信頼される学校づくりを推進します。

児童生徒の問題行動や不登校など、地域と学校、家庭が連携し早期発見早期解決に努めます。

地域住民のミーティングや交流のため、学校内に地域の大人や高齢者の交流ひろばを開設します。

住民の取り組み

年間を通じて学校行事に積極的に参加します。

子どもの通学時や学校園内での、見守り活動やワッショイスクールに参加協力します。

住民からの提案

12 地域に開けた学校施設と子どもたちとの交流

15 学校、地域、家庭が協力し合い、地域全体で子育て

16 土曜日の半日登校と放課後校庭のプレイパーク化

関連する個別計画

加西市教育振興基本計画

加西市教育行政方針

目 標 指 標

指標名	現 状（H21）	5 年後	10 年後
地域の ゲストティーチャー が講師を務める授業数			
学校公開（オープンスクール） 延べ日数			
学校評価の公表学校数			



めざすべき姿

様々な形態、様々な世代の農業従事者が切磋琢磨して加西米や果樹野菜を生産し、加西の一大産業としての農業が盛んに営まれるまちをめざします。

課 題

農地の集積化との生産コストの削減

若者や女性をはじめとする新たな農業の担い手の発掘と育成

農業参入希望者と農地所有者とのマッチング

市内外の様々な企業、団体、市民が関わることによる「集落力」の復活

行政の取り組み

認定農業者や新規就農者への農地の流動化を支援します。

生産から加工販売に至る一貫した事業の展開など、地域特性を活かした事業を支援します。

企業、新規就農者に対する地元関係機関の連携を強化します。

神戸大学、加西農業改良普及センター、播磨農業高校などの学術研究機関と連携して、新規就農者を呼び込む公開講座を開催します。

住民の取り組み

生産者は効率的な農業経営をめざして、大規模農業や集落営農を積極的に推進します。

安心安全な地域の農作物の推奨と地産地消に努めます。

田畑の提供など、担い手を育成するために新規就農希望者や農業後継者、企業等を応援します。

住民からの提案

05 若者や女性の新規就農者の発掘・育成

06 農地の賃貸借と農業経営の構築

25 米粉を市民に広め、特産品として育てる

関連する個別計画

加西市地域水田農業ビジョン

農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想

加西農業振興地域整備計画

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
地元農産物を意識して購入する市民の割合			
認定農業者数(人)	57	62	65
農用地利用集積面積（ha）	32	37	42

政策3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり



施策09

地域資源を活用した産業振興

めざすべき姿

農産物や技術力などの多様な資源を活かした加西ならではの産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。

課 題

ぶどう（特産品）の新たな価値創造

地産地消の流通、販路の構築

学術研究施設との連携

小規模店舗間の連携と振興

中小零細企業への支援

市内産業の仲介、紹介による新事業の創出

新たな企業の誘致

遠方からの来訪者に対応する宿泊施設

行政の取り組み

ぶどう、米粉等の加工品や新品種野菜の栽培などの事業者を支援します。

特産品の情報発信と、直売所やスーパーにおける販売を拡充します。

ポイントカード事業、ネットモール運営事業を支援します。

中小企業事業資金融資制度の見直しと拡充を行います。

経営革新講座やビジネスマッチング事業を展開します。

若者が働きたくなる産業の創出、誘致を推進します。

宿泊施設の充実とホテルの誘致を推進します。

住民の取り組み

加西製品の購入、販売に努めます。

市内店舗での買い物に努めます。

ふるさとに誇りと愛着を持って市内外に地域資源を情報発信します。

住民からの提案

01 市内に点在する直売所を観光情報とともに一体運営

02 加西を紫色のイメージカラーで染める

04 IT スキルの向上、ビジネスホテルの誘致

09 加西産のお米を市民に供給！！

23 野菜（加西産）の美味しいお店をオープン

42 企業誘致、農作物の販売体制の構築

関連する個別計画

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
卸売業小売業年間販売額			
製造品出荷額			
加西ブランド認証数	0	2 0	5 0

政策3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり



施策10

加西に住んで働ける就労支援

めざすべき姿

老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。

課 題

加西出身学生への地元就職活動推進

女性の社会進出を推進する環境作り

通勤圏内企業への就労促進

企業での安定雇用推進

未就労者の実態把握

高齢者労働力の活用

行政の取り組み

働きたい仕事が見つかるよう求人情報の情報量や提供範囲を広げて利用機会を高めます。

新卒者などへの魅力ある市内企業就職情報を提供します。

ハローワークや学校と連携し、未就労者の実態把握を行い、就労につながる能力開発への支援を行います。

住民の取り組み

子どもたちへ通勤圏内企業への就労を勧めます。

働く高齢者を応援し、就労機会を創造します。

女性が安心して働ける家庭づくりをめざします。

加西に住みながら仕事に通える子どもの将来について家族で話し合います。

地元に戻りたいと考えている若者に積極的に情報を提供します。

市内企業における市民就労率の向上をめざします。

関連する個別計画

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
若者の加西市残存定住率			
市内企業における市民就労率			
公共交通による市外への通勤者数			

政策3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり



施策11

加西らしい観光の推進

めざすべき姿

住民によって受け継がれた地域歴史資源を、住民が誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着・誇りが生まれる「花かほる石の里かさい」をめざします。

課 題

都会から近い田舎であることの利点活用

地域住民が地域資源を活用した新ビジネスの創出

公共交通利用者をターゲットとする観光振興

地域住民が地域歴史資源を活用したまちづくりへの取り組み

歴史観光ルートやストーリーの設定

点在する歴史観光資源を線で結ぶ取り組み

田舎体験、自然体験、歴史体験活動の推進

行政の取り組み

地域資源を活かした**ツーリズム**を企画し、加西の魅力を発信します。

特色ある観光を推進するための戦略や仕組みづくりを行うため、住民との協働により観光基本計画を策定します

文化財サポーターや地域文化財を継承する活動を支援します。

住民の取り組み

ハイキングやまち歩きなど、市内の観光イベントに参加します。

来訪者に対するおもてなしの心を大切にします。

指定文化財所有者及び地域住民が文化財の価値を理解し、積極的に保全、活用します。

住民からの提案

02 加西を紫色のイメージカラーで染める（Wwoof[ウーフ]の活用※）

03 加西サービスエリアを観光特産品情報の発信拠点に

18 子どもたちによる地域自慢大会

関連する個別計画

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5年後	10年後
観光まちづくり協会が企画する観光ツアーの参加者数	1450 千人	1800 千人	2000 千人
文化財サポーター登録者数			

※World Wide Opportunities on Organic Farms「世界に広がる有機農場での機会」の頭文字。WWOOFは、有機農場を核とするホストと、そこで手伝いたい、学びたいと思っている人との間で、お金のやりとりなしで、「食事、宿泊場所」と「力」そして「知識。経験」を交換する仕組みです。

政策4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり



施策12 魅力ある中心市街地の形成

めざすべき姿

中心市街地と歴史的街並みが共存する都市として多くの人が行き交うとともに、住民が通勤通学や買い物などに訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができるまちをめざします。

課 題

市街化区域内の住宅立地促進

土地区画整理事業により整備された宅地への住宅立地促進

歩いて生活できる環境構築

ストック住宅、空き家の活用

美しいまち並みを後世に残し活用する取り組みの推進

行政の取り組み

市街化区域に積極的に人を呼び込むことで職と住と商の賑わいを創出します。

旧市街地は、暮らしの機能の集積化を図ることで、暮らしの場の再生と歩いて暮らせるまちづくりを進めます。

北条地区(旧市街地)の街道筋で、歴史的な街なみを残している区域について、行政と地域住民の協働で、県の景観形成地区指定を受け、規制・誘導方策によって市街地の街並みを整備します。

都市計画道路等の整備にあたっては、旧市街地の景観を考慮し、沿道の建築物と一体となった市街地景観を形成します。

土地区画整理事業による住宅整理 民間活力を得て、土地区画整理事業内の住宅化を促進支援します。

住民の取り組み

景観まちづくりの取り組みを通し、街並み保全のルール作りと、まちづくりに対する新たな担い手を育成します。

住民や地権者が中心になって地域の景観や住環境の整備を行っていきます。

空き家や空き店舗を活用した事業を展開します。

北条のまちへ出掛けます。

関連する個別計画

加西市都市計画マスタープラン

加西市住宅マスタープラン

県景観条例に基づく景観形成地区指定

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
土地区画整理事業内の住宅立地件数			
市街化区域内の商業店舗立地件数			
景観形成地区指定			



めざすべき姿

地縁者や新規居住者によって集落や農業経営が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。

課 題

農業の担い手の受け入れ推進（地縁者、新規居住者）

ストック住宅や空き家の活用

都会から近い田舎であることの利点活用

特別指定区域制度の活用

行政の取り組み

空き家情報の収集と登録データの発信により多自然居住を推進します。

若者向けの持ち家促進のための取り組みを推進します。

特別指定区域制度における「新規居住者の住宅区域」の地区指定を支援します。

住民が住まい物件の情報を適切に得られるよう、住まい情報を発信し、不動産情報を充実させます。

住民の取り組み

地域の空き家情報の収集に協力します。

特別指定区域制度を利用し、住民参加による土地利用計画の作成に取り組みます。

田舎暮らしを希望する新規居住者の受け入れを進めます。

関連する個別計画

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
空き家バンクによる定住件数	3	1 0	2 0
新規居住者地区人口			



公共交通網の構築

めざすべき姿

過度な車社会から脱却し、世代や障がいを問わず、公共交通を利用することによって誰もが自分で移動することができるまちをめざします。

課 題

車を利用できない高齢者等の移動手段の確保

誰もが利用しやすいバス交通網の構築

北条鉄道の運行維持

近隣市町や京阪神地域への接続と利便性の向上

過度な車社会からの脱却

行政の取り組み

コミュニティバスの再編と住民運営バス等の導入を進めます。

北条鉄道の経営支援と利用促進策を実施します。

民間事業者が運行する広域的生活維持路線を維持します。

通勤通学圏の拡大を図るため、JR 山陽本線等への接続向上を図ります。

利用者の利便性向上のために北条鉄道の駅舎を整備します。

時刻表や運行ルートの分かりやすい情報を提供します。

車両デザインの工夫などで、乗って楽しいコミュニティバスを提供します。

住民の取り組み

地域の維持発展に必要な公共交通を育てるため、出来る限り車の代わりにバスや北条鉄道を利用します。

住民からの提案

08 神戸方面への公共交通の充実

33 B D F 車両の導入

関連する個別計画

加西市公共交通総合連携計画

北条鉄道中期経営計画

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5年後	10年後
コミバス等の利用者数（千人）	14.7（H21）	17.6（2割増）	22.0（5割増）
北条鉄道の利用者数（千人）	306（H21）	300（維持）	300（維持）

政策4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり



施策15

住みよい住環境づくり

めざすべき姿

年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが地域の住環境について話し合うことで、安心して快適な住民生活ができる環境をめざします。

課 題

安心して遊べる公園づくり

安心して通ることができる道路・橋梁の整備

地籍などの土地情報の調査

段差の解消など誰もが利用しやすい公共施設の整備

行政の取り組み

都市計画決定を行っている未整備の公園について再評価し、計画的な整備を行います。

市街化区域内の緑地の保全を目的とするために、玉丘史跡公園を都市公園に編入します。

地域の土地情報を正確に把握するために地籍調査事業を拡充します。

自転車歩行者道やガードレール等の安全施設の整備を行います。

橋梁の点検を行い、長寿命化計画を作成して計画的な維持補修を行います。

国道・県道・市道等の整備を行います。

公共施設や公共交通機関などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入を推進します。

住民の取り組み

市道の景観維持のため草刈り等軽微な作業は地域で行います。

誰もが気持ちよく利用できるよう、公園内のマナーを守ります。

市内の公園を積極的に活用します。

身近な道路の損傷や障害物などについて、市などの道路管理者に報告します。

建物や施設の整備にあたってはバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入に努めます。

住民からの提案

33 花や樹木を用いた沿道整備

関連する個別計画

加西市都市計画マスタープラン

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5年後	10年後
公園緑地面積			
歩道設置距離数			
地籍調査済み自治会数			



社会参加を通した生きがいづくり

めざすべき姿

地域の人材活用や社会参加により誰もが生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。

課 題

定年後の社会参加促進、交流機会の創出

地域の主体的な社会参加事業の推進

地域人材を活かした介護予防活動の推進

高齢者の介護予防への取り組みの強化

高齢者自身の介護予防意識の向上

行政の取り組み

地域の**介護予防リーダー**の養成とその活動を支援します。

老人クラブ活動など高齢者自身が企画運営を進める事業を支援します。

障がい者の集いの場となる**サロン事業**を支援します。

定年退職世代を対象にした**コミュニティビジネス**を推進します。

住民の取り組み

高齢者自身が自律の気持ちと生きがいを持って積極的に社会参加を行い、持っている能力の活用を図ります。

自治会などが中心となって地域活動参加や声かけを行い、高齢者の介護予防や健康づくりの活動を行います。

企業や事業者は障がい者の雇用を推進します。

住民からの提案

27 高齢者ための園芸交流広場を開設

41 高齢者の地域貢献、老人会による生産性の向上

関連する個別計画

加西市地域福祉計画

加西市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

加西市障害者基本計画・障害福祉計画

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5年後	10年後
介護予防リーダー数			
一般就労移行者数			



めざすべき姿

健康に対する意識づけを行い、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。

課 題

健康診断の受診率向上

生涯現役で暮らせるような健康づくり

こころの健康を保ち、元気で暮らせるような支援体制の構築

安全安心の食文化の創造

食に対する意識の向上、望ましい食生活による生活習慣の確立

行政の取り組み

特定健診・がん検診の受診率向上のための体制づくりを図ります。

健診後の結果を生活に生かせるよう相談体制を拡充します。

地域へ健康づくりを目的とした運動の普及を支援します。

こころの健康を維持するための相談体制の充実や専門機関との連携を強化します。

健診・教室を通じて乳児期から望ましい食習慣確立のための支援を行います。

食育を推進する団体等との連携を深め、食育活動を更に広げていきます。

住民の取り組み

健康づくりにおける運動の重要性を認識し、自分の健康は自分で守ることを心がけます。

各種健診の必要性を知り、積極的に受診し健康づくりに努めます。

自らの健康に関心を持ち、生活習慣の改善に積極的に取り組みます。

一人ひとりが自分自身や家族友人の心の健康に関心を持ちます。

子どもに正しい食習慣を身につけさせます。

食べ物を取り扱う事業者は、食育に関する情報を積極的に発信します。

関連する個別計画

加西市食育推進計画

健康かさい2 1

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
がん検診受診率の向上	胃:12.6% 大腸:22.4% 肺 28.2% 子宮:13.3% 乳 11.6%	全て 20%以上	全て 30%以上
特定検診受診率			
親子料理教室参加者数			

※食育 生涯を通じた健全な食生活の実現や食文化の継承、健康の確保などが図れるよう、食について考える習慣や食に関するさまざまな知識と食を選択する判断を身につけるための学習などの取り組み。平成 17 年に食育に関する施策を総合的・計画的に推進することを目的に食育基本法が施行された。



めざすべき姿

地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかるまちをめざします。

課 題

加西病院における医師の負担軽減のための医師確保や安易な受診の抑制
急性期医療終了後の後方医療施設の充実による地域完結医療体制の確立
地域医療の中核である加西病院の経営基盤強化
介護と医療の連携強化
産婦人科、小児医療の充実により子育てしやすい環境の整備
大災害に備えた緊急時の体制整備
住民が地域医療を支える意識の醸成

行政の取り組み

回復期、慢性期医療施設の整備及び在宅医療を充実します。

加西病院における高度医療充実と医師数を確保します。

診療所との地域連携によるネットワーク化を進めます。

医療療養型施設を設置します。

小児科救急医療体制の充実と小児科医の確保に努めます。

北播磨公立病院の輪番制による小児科救急医療体制の維持と小児科医の確保に努めます。

住民の取り組み

市民フォーラム、ホスピタルフェア等の開催による医療に対する理解と支援意識の醸成に努めます。

真に受診が必要な重篤患者が受診できるよう、安易な受診を抑制します。

地域のかかりつけ医を持ちます。

住民からの提案

21 北播磨地域に急病センターを設立する

関連する個別計画

市立加西病院改革プラン

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
市民一人あたりの医師数			
市民一人あたりの救命救急士数			



めざすべき姿

すべての高齢者や障がい者が、住みなれた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。

課 題

障がい者や高齢者等、在宅生活希望者への支援の充実

家族・地域における介護についての認識向上

地域の見守り体制を強化するためのネットワークづくり

地域包括支援センター、障害者（児）相談支援センターの周知と利用促進

障がい者の社会参加促進

行政の取り組み

認知症の予防や早期発見のための対策を推進します。

高齢者や障がい者に対する地域の理解と協力を促進します。

市、地域、社会福祉協議会の三者が協力しながら小地域活動を推進します。

障がい者一人ひとりの人生を支援する、総合的な支援体制を強化します。

市役所内就労支援や障害者雇用の拡充を図るための就労フェアを開催します。

住民の取り組み

地域のつながりの継続と強化による高齢者や障がい者の見守りを行います。

いきいき委員会やはつらつ委員会などの小地域活動を活用します。

援助が必要な高齢者や障がい者の発見に努めます。

地域で生活する障害者に対して偏見のない理解を深め、手助けが必要な時は積極的に支援します。

関連する個別計画

加西市地域福祉計画

加西市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

加西市障害者福祉計画・障害福祉計画

加西市次世代育成支援行動計画

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5年後	10年後
施設生活から地域生活への移行者数			
社会福祉協議会に登録しているボランティア団体数			



めざすべき姿

災害対策や地域ぐるみでの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。

課 題

高齢者・障がい者等の災害弱者対策

防災マップの活用や避難場所の周知

情報伝達手段の整備

防犯灯の設置による犯罪予防

警察や交通安全協会等との連携強化

防犯パトロール等、地域ぐるみでの治安維持

かさい防災ネットなど情報伝達手段の活用

行政の取り組み

災害時要援護者に対する防災情報を提供します。

自主防災組織への各種訓練指導など住民の防災意識を高めます。

災害時の一時的な避難場所や活動拠点となる公共施設の耐震化を推進します。

市災害対策本部による災害時の緊急配備態勢の構築を行います。

かさい防災ネット登録加入を促進し、防犯情報をタイムリーに配信します。

各自治会内情報伝達媒体の整備（屋内型有線放送・屋外型ラップ放送）を支援します。

防犯灯の配置を見直し、適正な配置を行います。

消費生活相談を充実させ、多様化する消費者問題に対応していきます。

免許返納制度を推進します。

住民の取り組み

自主防災組織による各種訓練に参加します。

避難場所など災害情報の入手に努めます。

日頃から様々な災害を意識し、災害や地震に備えます。

見守り隊やわっしょいスクールに参加します。

地域でのあいさつや声掛けを積極的に行い、地域のコミュニティづくりに努めます。

関連する個別計画

加西市地域防災計画

加西市水防計画

加西市国民保護計画

災害時要援護者避難支援計画

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5年後	10年後
各自治会内情報伝達媒体整備率	74/142＝52.1％	54.2％	56.3％
地震防災マップの全戸配布	0％	100％	100％
既存住宅の耐震化率	55％	65％	90％
自主防災組織数（事業所含む）			
かさい防災防犯ネット登録者数	2,100	3,000	3,500



めざすべき姿

多様な世代間交流を促進し、大人が地域の子どもの名前を覚えて挨拶できる地域ぐるみでの子育てをめざします。

課 題

子育てにストレスを抱える家庭に対する相談体制の充実
地域ぐるみの子育ての推進
放課後児童対策
多様な保育ニーズへの対応

行政の取り組み

市の相談窓口や情報発信により、地域ぐるみによる子育てを推進します。
母子保健による相談指導を充実します。
放課後児童健全育成事業を拡充していきます。
職員の資質向上と幼稚園保育所の施設統合により、保育サービスの質の向上を図ります。
申請手続や保育時間など住民ニーズに対応した保育サービスの見直しを進めます。

住民の取り組み

子育てひろばや子育て学習センターに気軽に親子で参加し、気軽に情報交換を行います。
子ども会活動など地域の子ども同士がふれあう機会を拡充します。
地域の子どもをあたたく見守り、子育て家庭を応援していきます。
保育リーダーやプレイリーダーの養成講座に参加します。

住民からの提案

- 13 保育サービスの見直しと保育の申請手続を簡素化
- 14 地域全体で子どもたちを見守る仕組み
- 19 子育てのための地域組織づくり
- 21 小児ワクチンの助成
- 21 保育園での病児保育のできるスペースの設置
- 22 子どものために公共施設を有効活用
- 24 保育サービスの充実による人口増対策

関連する個別計画

加西市教育振興基本計画
加西市次世代育成支援後期行動計画

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5年後	10年後
学童保育設置数			
ねひめキッズ開催数			

政策7 自然環境の保全と特色ある景観づくり



施策22

自然と共生する里地里山づくり

めざすべき姿

地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。

課 題

里山整備の推進とその維持活用

自然との共生のための農林業の環境改善（ため池、河川、人工林、水田）

防災のための山・田・池などの保水力の維持

有害鳥獣による農作物への被害への対策

里地里山を継承するための都市住民との相互交流の取り組み

耕作放棄地の増加への対応

行政の取り組み

市内の自然環境に生息する多様な生物を把握し、その環境的意義や経済的価値を示し、保全と利活用を推進します。

住民参加による地域の里山整備を支援します。

老朽化による決壊など危険度の高いため池を順次改修します。

不在地主の把握と利用促進のための賃貸借を斡旋する窓口を一本化し、耕作放棄地の解消と農地の有効利用を進めます。

有害鳥獣対策による農作物の被害を防ぐために関係機関との連携を図り、防御柵の設置などを進めます。

住民の取り組み

集落単位の里山や田畑やため池、里山の整備に取り組みます。
耕作放棄地を抑制するため、農地の有効活用を図ります。

住民からの提案

06 農地の賃貸借と農業経営の構築

29 里山整備と腐葉土基地を登録ボランティアで運営

35 田畑復活を考える会を立ち上げる

関連する個別計画

加西市環境基本計画

加西市生物多様性地域戦略

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
耕作放棄地面積			
危険ため池改修箇所数			
里山整備箇所及び面積			
有害鳥獣被害額			



加西の景観形成

めざすべき姿

残すべき景観と豊かな地域資源を住民が誇りを持って次の時代に受け継ぐとともに、どこにいても常に花や草木に触れることができるまちをめざします。

課 題

自然環境、自然景観を生かした住民のいきいきの場づくり
後世に継承すべき自然豊かな農村景観の維持再生と活用
景観を損ねる開発行為の抑制
緑溢れる住環境の推進

行政の取り組み

地域資源や景観を活かしたツーリズムを推進します。

緑のカーテンコンテストや花咲くまちづくりを推進します。

地域の景観と調和した広告物の表示に努めます。

開発調整条例に基づく景観に配慮した適正な土地利用を推進します。

景観ガイドプランや景観計画の策定を進めます。

アダプトプログラムの導入など、住民による地域の緑地管理を推進します。

住民の取り組み

緑のカーテンや花壇づくりを積極的に取り組みます。

ふるさとの森や緑の維持管理に努めます。

良好な街並や景観の形成に努めます。

身近な木々や草花を大切にします。

違法な開発行為を未然に防ぎます。

住民からの提案

07 彼岸花のまちづくり

31 花咲く街角づくり

関連する個別計画

加西市環境基本計画

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5年後	10年後
緑のカーテンコンテスト参加者	21	30	50
住民ボランティアによる植栽数			



施策24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進

めざすべき姿

加西で生産した太陽光などの再生可能エネルギーを、加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。

課 題

再生可能エネルギーの活用（エネルギーの地産地消）

スマートグリッドの実現

環境に配慮した資材の利用促進

自転車、電気自動車などの普及

二酸化炭素排出権取引と環境ビジネスの定着

行政の取り組み

公共施設における太陽光発電システムの導入を推進します。

住宅用太陽光発電システムの設置を促進支援します。

環境ビジネスの創出支援を行います。

住民の取り組み

企業において ISO やエコアクション 21 を積極的に取得します。

環境負荷を軽減する技術の開発や商品の製造及びサービス提供に努めます。

公共交通や自転車の利用を進めます。

省エネに努めます。

自然エネルギー活動の利用を促進します。

住民からの提案

28 ソーラーパネルの設置

34 ソーラー発電所を鶉野飛行場跡地に

関連する個別計画

加西市環境基本計画

加西市地域新エネルギービジョン

加西市地球温暖化対策地域推進計画

エコアクション 21

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
公共施設への太陽光発電設備導入	0 kw	50kw	250kw
住宅用太陽光発電設備導入件数			
ISO・エコアクション 21 取得件数			

※環境ビジネス 環境負荷を軽減する装置や技術、商品の開発・製造及び環境保全型社会の構築に役立つサービスの提供など、環境に関してあらゆる分野にまたがる横断的なビジネス

めざすべき姿

安心安全で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で人が元気に暮らせるまちをめざします。

課 題

- 事故や災害に備え水道施設の計画的な耐震化や更新
- 下水道普及率の向上
- 下水道経営の健全化

行政の取り組み

- 上下水道の施設・設備について耐震化を推進します。
- 上水道の計画的な修繕・更新による費用の平準化を図ります。
- 民間活用による水道事業の効率化、安定化を進めます。
- 下水道の接続促進や合併浄化槽の普及を促進し、水洗化率を高めます。
- 効率的な生活排水処理計画を策定し、計画的な施設の統廃合や改修を行います。

住民の取り組み

- 水道に対する理解を深め節水を心掛けます。
- 未接続世帯においては早期の下水道接続を心掛けます。
- 河川の水質浄化のため、適切な排水処理に努めます。
- 雨水の利活用に努めます。

関連する個別計画

- 生活排水処理計画

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
水道有収率	89.9%	92%	94%
水洗化率	76.1%	90%	92%



めざすべき姿

資源再利用の手段が住民に情報提供され、リサイクルをすることでゴミを減らすことが当たり前になっているまちをめざします。

課 題

ゴミの減量と有効活用

BDF の利用促進

ゴミ処理の効率化と適正化

資源ゴミを循環させる仕組みの構築

廃棄物のマテリアル利用

行政の取り組み

廃食用油リサイクル事業を推進します。

間伐材の燃料利用を推進します。

民間活用によるゴミ処理の効率化、適正化を進めます。

ゴミ処理の広域化を検討します。

廃棄物のマテリアル利用の流通ルートを整備します。

住民の取り組み

各種団体等による資源ゴミの集団回収に協力します。

間伐ボランティアの活動に協力、参加します。

リサイクル製品を積極的に利用します。

ゴミの廃棄についてはルールを守り正しく分別します。

マイバッグの利用など買い物袋の減量に努めます。

住民からの提案

28 廃油回収

関連する個別計画

加西市環境基本計画

加西市バイオマスタウン構想

加西市地域新エネルギービジョン

加西市地球温暖化対策実行計画

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
ゴミのリサイクル率	%	%	
市民 1 人あたりのゴミ排出量			



めざすべき姿

誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、住民と企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。

課 題

子どもへの段階的な自然教育、野外体験、環境教育（幼・小・中・高）
環境ビジネスと連携した環境学習機会の創出
環境問題や環境学習に対する関心と理解
不法投棄や生活騒音などの発生源対策

行政の取り組み

家庭や地域、学校、職場などあらゆる場で環境に関して学ぶ機会を創出します。
住民が自然環境に親しみ、水や緑と触れ合う機会を提供できるよう河川や水辺空間の美化活動を推進します。
親子で参加できる環境学習を推進します。
中高生の環境活動や学習機会を創設します。

住民の取り組み

地域の美化活動に積極的に参加します。
隣近所に配慮しながらお互いの生活環境を良好に保ちます。
様々な学習機会を通して地域の環境保全に努めます。
環境家計簿などを利用して家庭からの二酸化炭素排出量を再認識します。

住民からの提案

- 17 遊びから学ぶ環境学習
- 28 河川清掃、廃油回収、ソーラーパネルの設置
- 32 ふるさとの川と里山を守る
- 36 豊かな自然教育と定住促進

関連する個別計画

加西市環境基本計画
加西市地球温暖化対策実行計画
加西市地域新エネルギービジョン
教育振興基本計画
教育行政方針

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
学校における環境学習の開催時間数			
公民館における環境学習の開催時間数			



めざすべき姿

地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。

課 題

地域づくりの担い手やリーダーの発掘と育成

地域におけるまちづくり意識の醸成

市政への住民意思の反映

行政運営の透明性の確保

多様な情報メディアの活用

分かりやすい市政情報の提供

行政の取り組み

ボランティア活動希望者と支援を受けたい人との調整を図ります。

社会活動の促進を図るため、活動の中心となるリーダーの発掘や育成に取り組みます。

自治基本条例等の制定によって地域協議会の位置づけや行政の支援体制を構築します。

地域の自立的な地域づくりのために、専門家や専門職員を派遣します。

市政運営の透明性確保のため、政策形成段階からの住民参加を推進します。

市民から寄せられる提案・要望・意見について、その回答をホームページを活用して住民との情報共有を図ります。

住民の取り組み

住民は住んでいるまちに興味を持ち、まちづくり活動に参加します。

住民が得意分野を地域に還元します。

地域の様々な組織や団体は、相互に連携し合い協力していきます。

市政運営や市の財政状況に関する関心をもち理解を深めます。

懇談会や意見募集など様々な方法により、意見を述べます。

住民からの提案

10 地域で考え、地域で行動する「地域会議」を設立

20 地域の力を発揮できるコーディネート機関を設置

26 （仮）人材登録センターで、まちの元気を創出

37 市民が市政に関心を持ってもらうために

38 地域組織・市民グループの連携強化

関連する個別計画

市民参画都市宣言

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5年後	10年後
NPO 数			
地域協議会設置数			
ボランティア活動希望登録者数			



めざすべき姿

家庭、職場、地域において、男女が持つ個性と能力を十分に発揮できる社会をめざします。
また、国籍や文化が異なる人たちが、互いの文化や習慣を理解し、尊重し合う社会をめざします。

課 題

家庭や地域、職場等あらゆる場における意識づくり
企業や地域における女性のポスト確保や登用
女性の視点を活用したまちづくりの推進
家事・育児・介護等への男性の参加
在住外国人との交流促進
国際交流活動や日本語学習活動に対する意識理解
在住外国人のための多言語による生活支援
多様な人権課題についての理解の促進

行政の取り組み

ドメスティック・バイオレンス（DV）等、男女共同参画社会に関する学習機会を拡充します。
男女共同参画月間等の啓発活動を推進します。
女性の社会進出とワーク・ライフ・バランスを推進します。
女性の声を地域の組織や団体に反映させる制度を構築します。
男性の家事・育児・介護参加を推進します。
女性の就労のための研修講座の実施を推進します。
日本語教育を通じた日本文化・生活への理解を促進します。
生活情報の多言語化を推進します。
国際感覚豊かな人材を育成します。
在住外国人のための学習支援を行います。
その他あらゆる人権啓発活動を推進します。

住民の取り組み

教養と連帯感に根ざした実践力を高め、男女共同参画社会の実現に向けて活動します。
自治会女性役員の登用を進めます。
性別による固定的役割意識を見直します。
家庭内における家事・育児・介護の役割分担を行います。
異なる歴史や文化を尊重します。
市が開催する国際交流事業に参加協力します。

住民からの提案

- 39 各自治会で市民参画・男女参画の啓発を
- 40 外国人の視点を入れた安心・安全のまちづくり

関連する個別計画

男女共同参画都市宣言

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
国際交流に対する満足度			
公共施設における 多言語化対応施設数			
語学教室受講者数			
市の女性管理職の登用率	7%	15%	25%
男女共同参画協定事業所数	0	3	5
自治会女性役員の登用率			
女性就労者数			



めざすべき姿

次世代への負担を増やさない納税者の視点にたち、住民満足度の高い市政運営をめざします。

課 題

民間活用を踏まえた適正な人員配置の実施

職員の人材育成と意識改革

民間活力の活用

広域的な自治体連携

施設の計画的な更新

行政の取り組み

財政健全化のための目標値を設定し、予算の段階から財政健全化に向けての取り組みを行います。

総合計画に基づく計画的な事業評価を行い、その結果を予算に反映します。

資産の有効活用も含め、老朽施設更新計画を進めます。

公共料金の収納体制を強化し、納付機会や利便性の向上を図ります。

新たな定員適正化計画を策定し、必要な部門に職員を重点配置します。

職員の能力や士気を向上させる職員研修を実施します。

民間活力の導入を推進し、適正な維持管理に努めます。

他の自治体との協力や各部門間の連携により、圏域全体の効率的な行政サービスの提供をめざします。

住民の取り組み

行政サービスの効果とコストの監視に努めます。

税金の使い道について理解と関心を深めます。

関連する個別計画

財政再建推進計画

行政経営改革大綱

目 標 指 標

指標名	現 状（H22）	5 年後	10 年後
広域事務事業の件数			
職員研修成果発表回数			
基金残高			
市債残高			
実質公債費比率			